

子ども服安全規格（JIS規格）の普及啓発と

アンケート及び聞き取り調査について

NACS標準化を考える会

1. 調査の目的

子ども服の安全性に関する規格が広く普及・周知され、実効性のあるものにするには、広報・普及策について検討する必要がある。また、普及啓発を通じて、子ども服の安全性に対する問題意識を広く認識させ、子ども服による事故の未然防止を図ることが目的である。その一環として、2013年度「霞が関子ども見学デー」において、経済産業省のイベントに参加し、子ども服の安全規格について、普及啓発とアンケート及び聞き取り調査を実施した。保護者には危険性についての認知度や適切な情報伝達手段等を聞き、子どもには誰が衣類を選んでいるか、及びフードやヒモについての意見を収集した。子どもからの声を直接聞く貴重な機会となった。

2. 調査の概要と考察

子ども服とリーフレット（東京都から提供）を展示し、研究会メンバー各自がそれぞれ一人又は一組の親子を担当し、子ども服の実物を見せながら情報提供を行い、意見等を聞いた。一対一で個別に対応した結果、大人127名・子ども126名から非常に様々な意見・情報が収集できた。

アンケート結果によると、回答者（大人）の77%が、フードとヒモの危険性については知っていた。知っている理由としては、保育園・学校での指導によるところが多いようであり、小学校高学年の子どもをもつ保護者で「子どもが保育園の時に、園から注意されていたから知っている」と答えた人が複数いた。また、情報の伝達手段としては、テレビや新聞等のマスコミの報道で、「最近よく取り扱っている」との意見があり、マスコミの影響力が大きくかつ効果的なのが確認できた。それに加え、学校での教育と答えた人も多く、保護者便りなどで子どもを通じて親への啓発も期待できる。

事故事例としては、フード・ヒモ以外にはファスナーで、実際にけがを経験した親子が多く、今後はファスナーの安全性についても検討が必要と考える。また、小中学校生徒の保護者からは、フードの付いてない服を探すのが困難という意見もあった。

子どもへの質問では、服を選んでいるのは複数回答で母親（79人）と子ども自身（53人）が多く、フードやヒモを「すき」と答えた子どもは、「きらい」や「どちらでもない」と較べてはるかに少なく、特にヒモに関しては嫌いが好きの3倍以上であった。また、フードやヒモをデザイン的に評価する子供は少なく、邪魔だ、面倒だ、首が絞まる、及び引っ掛かって危険という意見が多く、フードやヒモを子ども自身が否定的に捉えている傾向が見られた。

それでも付いている服を選ぶ場合の多くは、大人が好むか、危険性について知らない、もしくは気にしない親や、子どもと普段接しない祖父母などが購入することが想定されるが、防寒性・体形に合ったサイズ調節などのメリットを評価する消費者も想定される。それならば、その対象者に、ヒモ等の危険性とJIS規格の意義の周知徹底が重要であるが、学校のルート以外の啓発方

法も考える必要がある。

子ども達から「小学校ではフード付きの服は禁止されている」との情報が複数あった（野線の項目参照）。寒い時期の体育の授業に羽織る上着に付いても、フード付きは避けるよう指導があるようである。鉄棒などにひっかかるとの情報もあったが、一方、学校からの指導を知らない保護者もいた。以前、保育の現場での子ども服の調査を実施した時も、禁止している保育園等が多くあったが、同じく小学校でも注意を促していることが確認できた。

小学校入学前の小さな子どもまでもが、自分の言葉で真剣にアンケートに回答し、実体験に加えて、子ども自身が自分達の着ている洋服についてどのように考えているかが聞けたことは、大変興味深い。子ども服はこうあるべきという固定概念や、デザイン性に優れていると思いついでデザインされた子ども用衣類を、（大人も含め）子ども自身が本当に支持しているのかは検討する必要がある。尚、当日は政府広報より取材を受けた。

調査結果は以下の通りである。

日時：2013年8月7日～8日の二日間

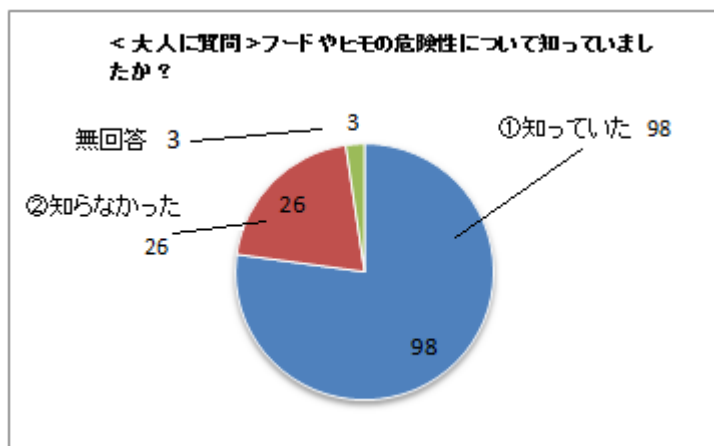
場所：経済産業省本館「経済産業省 夏休み子ども見学デー」

アンケート回答数：194枚（内訳 大人127人・子ども126 ※内59枚は親子で一緒に記入）

I <大人に質問>

Q1 フードやヒモの危険性について知っていましたか？

| | | |
|------------|------|-----|
| ①危険性を知っている | 98人 | 77% |
| ②危険性を知らない | 26人 | 20% |
| ③無回答 | 3人 | 2% |
| 合計 | 127人 | |



(人)

また、どのような方法で危険情報が伝わればいいと思いますか？(複数回答可)

| | 危険性を知っている | 危険性を知らない | 無回答 | 合計 |
|--------|-----------|----------|-----|-----|
| テレビ | 78人 | 20人 | 1人 | 99人 |
| 学校教育 | 52人 | 15人 | 1人 | 68人 |
| 新聞 | 35人 | 8人 | 1人 | 44人 |
| ネット | 18人 | 3人 | 0人 | 21人 |
| 雑誌 | 15人 | 5人 | 0人 | 20人 |
| 説明会や講座 | 7人 | 1人 | 2人 | 10人 |
| ラジオ | 2人 | 1人 | 0人 | 3人 |

【自由記入】 (◎一部子どもも回答)

①危険性を知っている人の意見

◎ぜったい学校でつうほう (10歳女)

◎いえること (8歳女)

◎先生 (12歳女)

- ・テレビで知っていた。学校でのイベントで開催したらどうかと思う
- ・幼稚園 (2名)
- ・テレビ、学校とおしてだと情報が得られやすい
- ・ニュース・新聞などで、もっと取り上げて欲しい
- ・雑誌→ひよこクラブ等のママ向け
- ・情報が少ないのもっと宣伝して欲しい
- ・テレビ (情報番組など)
- ・母親学級など
- ・CM
- ・TVCM、新聞広告だと多くの目にふれやすいと思う
- ・自治体からの発信も消費者に届きやすいと思う
- ・テレビ、新聞で (2名)。特集をくんでもらう
- ・母親は情報をネットで得ることが多いと思うので、危険性について知らせるページがあると良いと思う。又小学生以上は学校で知る機会があれば有効かと思う
- ・フードの無い服を探す、なかなかみつからない。フードの無い服が流行すれば良いのではな
いか？
- ・検診や児童館などで配布するのも良いのでは
- ・公民館で聞いた (子育て教室)
- ・保育園時代に、フードやヒモのついた服は着せないようにと言われた。

- ・テレビの小さいこども向けの1～2分間の番組の中で少し入れて欲しい(祖母)
- ・店頭でも注意してほしい
- ・学校教育→れんらくちょう、おたよりがあるので、そこからの情報が良い
- ・テレビニュースで見た
- ・テレビ、保育園や学校、ネット(子ども関係の情報サイト)
- ・保育園でのお知らせ
- ・学校・幼稚園でフード付きの上着(ジャンパー等)は禁止されている。体操服のズボンのヒモも取るように言われている(板橋区の小学校で入学時指導があった)
- ・子どもが見るようなテレビ番組や合間のCM
- ・友達
- ・テレビのニュースコーナーなどでとりあげられると、みなさん注意すると思う
- ・子どもが小学生で自分で服を選ぶことが多いので、子ども自身にも知ってもらいたい

②危険性を知らない人の意見

◎CMとか(14歳女)

- ・学校の安全教育の時間に伝えるといいと思う
- ・HPの広告
- ・電車のつり広告
- ・区役所
- ・余り服に関しては危険だとは思わない。マフラーをたらず、ベルトをたらず、バックのヒモをたらずのは危険
- ・学校の生活の授業で指導してほしい

Ⅱ <大人とこどもに質問>

Q2. これまでに、ご自身(じしん)やご家族(かぞく)が、こども服(ふく)のフード、ヒモ、かざり、ファスナーなどでけがをした、けがをしそうになったことはありますか？ありましたら詳しくおしえて下さい(聞き)いたこと・見(み)たことでも可)

【大人からの情報】

①危険性を知っている人からの情報

○フードによるけが・ひやりはっ

- ・フードがエレベーターのドアに挟まった
- ・こどものフードを後ろからひっぱられて、たおれたことがある

- ・フードがドアノブに引っかかり首がしまりそうになった
- ・フードが引っかかって危ないことがあった
- ・遊具にフードが引っかかることはあった
- ・フードをひっぱられて転倒
- ・フードが公園の遊具に引っかかった
- ・ジャングルジムでや鉄棒でフードが引っかかる。子ども本人は気がつかない。ほとんどフード付きは着せないようにした
- ・公園の遊具でフードがはさまりケガをした、と聞いたことがある
- ・すべり台を滑る時に、服（上着のひも）が手摺に引っかかり、首がしまり亡くなった。（聞いたこと）
- ・友人にフードをふざけてひっぱられて、首がしまってしまった
- ・遊んでいる時に、友達に後ろからフードを引っぱられた。（首がしまり少し苦しくなった）
- ・子ども同士遊ぶ中で、フードをひっぱり首がしまりそうになった。（保護者/幼稚園教師）

○ヒモによるけが・ひやりはっと

- ・洋服のヒモが電車のドアにはさまりかけた
- ・レインポンチョのヒモが、自転車車輪にからまりそうになった
- ・ついているヒモをずっとしゃぶってしまい、詰まらせそうになった子がいた。（保護者/幼稚園教師）
- ・電車の出入り口で洋服についでいるひもがはさまってしまった。次の駅まで、はさんだまま
- ・ズボンの裾のひもが遊具に引っかかった。息子が2～3歳の時

○ファスナーによるけが・ひやりはっと

- ・ファスナーで目をはさんだ
- ・10歳くらいの時、ファスナーがまぶたにはさまってしまった
- ・ファスナーで首の肉をはさんだ（子ども）
- ・ファスナーで肉をはさんでしまった。（3名）
- ・ファスナーが上がらず勢いよく上げたら、首をキズつけた
- ・ファスナーで首付近の皮膚を、はさみそうになった
- ・ファスナーを上げる時、思いきり引っぱってとれてしまった。指にケガをした
- ・ファスナーが中の服などをかんでこまった事がある
- ・ファスナーのジャンパーを振り回して、金具が、人にあたって傷つけそうになった
- ・ファスナーで首の皮膚をはさんでしまった。（3名）
- ・子どもがファスナーをかんで歯を折ったことがあると聞いた
- ・娘が乳児の頃、ファスナーを上げた時に、首の皮をはさみそうになった。それ以来（何度かあ

ったので) ファスナーを上げる時に、すごく怖がる

○ボタン・リボンポケット等によるけが

- ・かざり：盆踊りの際に、前のひとと触れていやな顔をされた
- ・ズボンのゴムのボタンが皮膚に当たっていたい
- ・足元のリボンが一輪車にからまった
- ・ジーンズの金具があるところが気になる (子ども)
- ・(画鋸の様になっている所) がとがっているのでたおれ時に痛い(子ども)
- ・マジックテープがじゅりじゅりして痛い。子どもの靴のマジックテープのはみ出したところが、隣の人足に当たり、ストッキングが破れることがある。満員電車の通学で隣の女性とトラブルにならないか心配している
- ・デザインの好みで大きなポケットの洋服を着用、ポケットがひっかかりつまづきケガをした。シンプルなものが良いとわかった
- ・子どものズボンの裾が、自転車に絡まった
- ・スカートの裾が自転車にからまった

○その他

- ・靴のひもが自転車にからまった
- ・靴ひもがほどけて逆の足で踏んでころびそうになった
- ・なし。保育園でフード付きのジャケットは禁止されている
- ・大人のズボンのポケットの金属で顔にすり傷を作った
- ・フードの服は着せてないので、実際のけがはない
- ・なし。保育園ではヒモやフードだけでなく、スカートも禁止されていたので、今でもあまり選ばない。またヒモがついていても切ってしまうたりする
- ・特にないけど、フードがひっかかる事があるので危ないと聞いた
- ・すべり台ですべるときフードがひっかかり首がしまってしまうことがあると聞いた
- ・けがではないが、ファスナーが他の服にくいこむ
- ・私がストールの端が自転車にからまった→けがはなかったが危険だと思った。(こどもには伝えてる)
- ・大人のひも靴の編上げの金具を、逆足に引っ掛けて転んで大けがをしたことがあるので、子どもにも気をつけていた
- ・ヒモが付いた服をもらったら切って使う。ひもをとったら、レーザーで穴があげられている時は、縫ってふさいで使った。ポケットは取る
- ・自分の周りでは幸いないが、フード付きのパーカーなどは所有しているし、店でも販売されているので、危険性を認識している人は少ないのではないかと思う
- ・なるべくフードやヒモがついている服を買わないようにしている

- ・すべり台にヒモが絡まったことは、ニュースで聞いた
- ・(子どもの着ていた服の)腰のヒモが、トイレの便器に入ってしまった(不衛生だと思う)
- ・ニュース等で知る
- ・フードのヒモを引っ張り、長くなってしまい、危ないなと思い、ヒモはずしたことがある。
ズボンの裾のヒモも何かに引っ掛かりそうなのではずした
- ・公民館の子育て教室の講義の時に、(子ども服の事故の話を)色々聞いた
- ・新聞で事故の記事を読んでいたのも、孫が(フードやひものついた服を)着ているのを見て危ないと思っていた。とにかくエスカレーターの際は気をつけていた。孫が小さい頃はひもは抜いてゴムにする。ヒモがついている場合は可愛いけど怖いからエスカレーターの時も孫の後ろに乗るように気をつけていた(祖母)
- ・靴ひもがほどけていて、自転車にひっかかった
- ・けがしたことは無い。保育園の友人からフード付きの事を聞き購入のときは気にしている
- ・孫が首にヒモがついている服を着ていても、娘(母親)から「ヒモがあるのは当たり前だ」と言われるので困る。スリッパも中途半端にはいてすべりそうで危ないと思う
- ・フード付きのパーカーは、ニュースで見て、公園に行く時はフード付きを着させないようにしている。
- ・学校の先生より教えてもらった
- ・学校では危険防止でフード付きは着用禁止になっている。子どもが小さい時は、ヒモがついていたり、フードがついていたりするとじゃまに思いつながらなかった。ゴム付きも止めるところがいたいと言ってけがをしてもいけないと思いつて取っていた
- ・娘の小学校では、冬体操着の上に着るものとしてフードやファスナー付きのトップスがNG
- ・子どもが小2の時の小学校のお便りで、フードは着て来ないようにと連絡があった
- ・フードのある服は保育園では禁止。遊具や他の子にひっかかって危ないからというアナウンスがある
- ・保護者会で持たせる服(お着替え)にヒモやフードのある服を選ばないようにアナウンスしている。→アナウンスすると、しばらくは良いがそのうち着てくるようになる。→再度注意している(保護者/幼稚園教師)
- ・保護者は具体的に事例を言わないとピンとこない。危険だということを強調している(保護者/幼稚園教師)
- ・ロングスカートが、自転車の車輪にひっかかった。(大人)階段で人のロングスカートを踏んでしまった(大人)
- ・保育園では定例の懇談会で最初に担任の先生よりフード、ヒモ付き服は極力着させないようにとの話がある。ところが、フードの無いはおりものをさがすと実際にはとても品が乏しく、とても苦勞する。またデザイン性もよくないので、特に小学生以上でオシャレに関心の高まる年頃の子には厳しいのが現状だと思う。小学校の方が危ないと思うが、学校の先生から冒頭のような話をされたことはなかった

- ・長い持ち手のバッグが何かにひっかかったことがある（大人）
- ・通っている幼稚園で事故の可能性についての説明があり、フードやヒモ付きの服は着用を禁止されてる
- ・ズボンの裾のヒモは見ていていつも危ないと感じている。特に自転車などパーカーやウエストのヒモはとってしまう。着やすい服を子どもに選んでいる
- ・自分が長いスカートをはいて、自転車に乗ったら、すそが、タイヤにひっかかって、転倒しそうになった

②危険性を知らない人からの情報

○フードによるけが・ひやりはっと

- ・フードを引っ張られたりするのを見たことがある
- ・ドアノブにフードやポケット・そで口などひっかけることが多い

○ファスナーによるけが・ひやりはっと

- ・ファスナーで手をかむ
- ・ファスナーに肌のはさまれたことがある

○その他

- ・サンダルがエスカレーターにはさまれた
- ・7分ズボンなどはゴムがのびていると危ないなと感じた事はある。今のところは事故に遭っていないが、小さい子などは危険だと思う
- ・聞いたことはないけれど、孫が裾の長いズボンをはいて、自転車に乗ろうとした時に、ペダルにひっかかりそうなので、はくのをやめさせた。やっぱりヒモ類はいろいろな面で危ない
- ・テレビや学校などから情報が入り、認識すればフードやヒモがあっても注意するようになる日本では大丈夫だが中国ではそうはならない。海外では対応しきれない（中国人の母親）
- ・クロックスがエスカレーターにひっかかって子どもが怪我をする事があるというのは聞いていた
- ・長いマフラーが遊具に絡まって、首が閉まったということを聞いたことがある
- ・子ども服は見ためより着やすいもの着心地等を考えて、無駄な装飾をさけていたので、今のところ事故等はない
- ・ズボンのすそをヒモでしぼるタイプで足にひっかけそうで不安だった
- ・靴ひもがほどけて転ぶ

③危険性について無回答の人からの情報

○ファスナーによるけが・ひやりはっと

- ・アゴをファスナーではさんだ

○その他

- ・危険性を認識している人は少ないのではないかと思う

【子どもからの情報】

○フードによるけが・ひやりはっと

- ・フードが後ろからひっぱられて、ころびそうになった人がいた（8歳女）
- ・学校は制服。普段着はきちんとした場所に行くときの服はお母さんが選んでる。フードをかぶるとまわりが見えにくい（10歳男）
- ・フードがぼうにひっかかった。6才のとき（こども 11歳男）
- ・はしって、外にでようとしたら、ドアノブにフードがひっかかってくびがしまったことがあるから（10歳男）
- ・フードは着ないようにしましょう、と先生からいわれた（こども 8歳女）
- ・学校の先生がフードをきてこないでとは言っていましたが ひもはなにも言われていなかったので ひもはしらなかった。小学校でもっとみんなが あぶなくならないように もっとしてほしい（9歳女）
- ・体育の時先生にフードはだめといわれた（11歳女）

○ヒモによるけが・ひやりはっと

- ・学校で机にひもがかかっところんだ（こども）
- ・おとこのこのズボンの下にひもがあつてわざとまるをつけてひっかかって、ちがでてしまった（7歳）
- ・ジャンパーのヒモが自転車にひっかかってこけそうになった（10歳男）

○ファスナーによるけが・ひやりはっと

- ・妹がファスナーで首の肉をはさんでしまった（11歳女）
- ・ファスナーであごのひふがはさまった（12歳女）

○その他

- ・スカートのすそがタイヤにまきこんだ（自分）（8歳女）
- ・サッカーの時にシューズのひもがひっかかっところんだ（11歳男）
- ・けんかでよくひっぱってしまう（12歳女）
- ・最近テレビで知った（12歳女）
- ・そんなのはいっさいきていないので、体けんしたおぼえはない（10歳女）
- ・見たこと：こうていの3じかんめのきょうしつにかえるとき、ミニスカートをはいていた女の子がころんでけがをしていた（8歳女）
- ・自転車に乗っているときチェーンに留め具がひっかかり、破れた（11歳男）

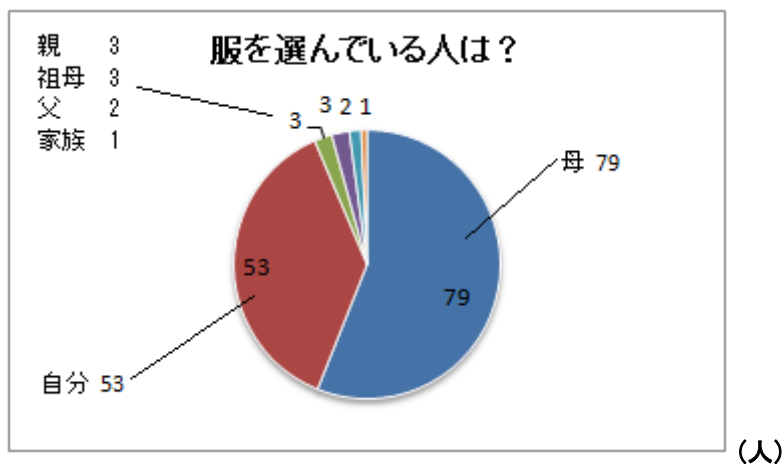
- ・パーカーがかみの毛にからまって、かみの毛をひっぱられ、とれなくなった (8歳女)
- ・バックのひもがチャリコの車輪にひっかかり、10分位時間ロスをした。最近のこと。(16歳男)
- ・スカーフのかざりが、ジャングルジムにからまり、首がしまりそうに同級生の友がなった。(12歳女)
- ・ゆびのかわがはがれたりするから。ドアのくふうもとても家ではひつよう (9歳女)

Ⅲ <こどもに質問>

Q3. あなたの服(ふく)は、だれがえらんでいますか？フードやヒモがついている服(ふく)は好きですか？そのりゆうをきかせてください。

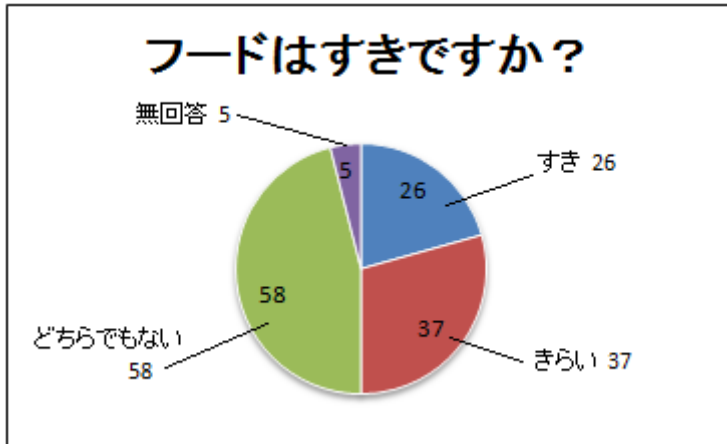
a. えらんでいるひとは？(複数回答可)

| | 母 | 自分 | 親 | 祖母 | 父 | 家族 |
|------------|-----|-----|----|----|----|----|
| 服を選んでいる人は？ | 79人 | 53人 | 3人 | 3人 | 2人 | 1人 |



b. フードは好きですか？

| | 好き | きれい | どちらでもない | 無回答 |
|------------|-----|-----|---------|-----|
| フードは好きですか？ | 26人 | 37人 | 58人 | 5人 |



(人)

※以下、「危険性を知っている」及び「危険性を知らない」とあるのは、Q1「フードやヒモの危険性について知っていましたか？」の大人の質問に、子ども自身が回答した場合を記載した。

<好き>・・・26人

理由

○ファッション性

- ・かっこいい(2名 14歳他)、みためがいい (14歳男)・・・危険性を知っている
- ・みため (13歳男)・・・危険性を知らない
- ・おしゃれ、おちつく、クマミミがあるから好き
- ・ファッション的に
- ・かわいい
- ・オシャレだったりするから (9歳女)
- ・服についていたら、おしゃれだと思うから (12歳女)
- ・かわいいから (7歳)
- ・かぶるとあたたかいし、オシャレだから (12歳女)

○機能性

- ・雨がふったときかぶれるから (10歳男)・・・危険性を知っている
- ・雨がふってきた時にかぶることが出来るから (2名 14歳女他)・・・危険性を知らない
- ・雪のときとか、さむいから (10歳男)
- ・雨の日には傘がわり
- ・あたたかい、
- ・雨がふったらかぶれる (12歳女)
- ・冬はあたたかいから。

- ・頭をまもるから（9歳女）
- ・さむいときは、すぐにあったまることができるから。（10歳女）

○その他の意見

- ・フードがあるとリラックスできて安心する。（19歳女）・・・危険性を知らない
- ・なんとなく（2名 11歳女他）
- ・すき（12歳女）
- ・パーカーを良く着てて、フードの無いパーカーはちょっとかっこ悪いか（13歳）・・・危険性を知らない

<きらい>・・・37人

理由

○危険性

- ・首がしまるから
- ・じこにあうといやなので
- ・あぶない（2名）
- ・首が苦しいから
- ・危ないし、別に必要ないと思うから
- ・ぬぐのが大変、かぶると周りが見えない
- ・ひっかかるから（10歳男）

○邪魔

- ・じゃま（3名 8歳女他）・・・危険性を知っているを含む
- ・うんどうするときに じゃまだから（11歳男）・・・危険性を知っている
- ・何かにひっかかったりしてじゃまだから（9歳女）・・・危険性を知っている
- ・じゃまでかわきにくくて、しょっちゅう着れないから（8歳女）・・・危険性を知っている
- ・小さい子どもが遊んだ後、昼寝する時に邪魔であるから
- ・めんどくさい、じゃま
- ・じゃま（11歳男）
- ・ずっと ぼうしを つけていて ちょっとじゃまだから（10歳男）
- ・フードはわたしにとってかわいくないし、じゃまだしあついしあぶないのできらい。（9歳女）
- ・動くときにじゃまだから。（11歳女）

○その他の意見

- ・きらい
- ・うっとうしい、重い

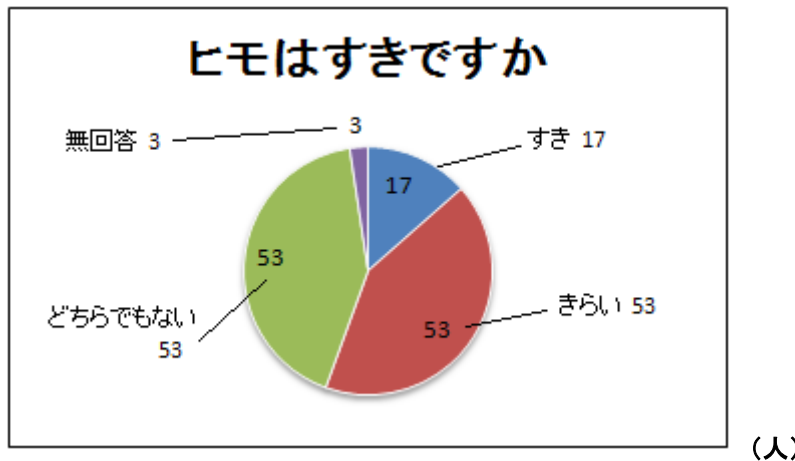
- ・首まわりがすっきりしているほうが良い
- ・首まわりをスッキリしたいので
- ・首まわりがきもちわるい。そういうのは大きらい。10歳女)・・・危険性を知っている
- ・学校に着ていけない
- ・学校で禁止されているので家で着る服・・・危険性を知らない
- ・暑い(11歳女)
- ・フードが無くても、普通の帽子で十分

<どちらでもない>・・・58人

- ・さむい時楽
- ・フードのすきなところ→デザインのアクセントになる少しの雨の時、寒い時便利
- ・かわいいけれど、あまり選ばない
- ・さむいときはひつようで、あついときはいらぬ
- ・さむくならないから(9歳男・・・危険性を知らない)
- ・かわいらしいが、学校では危険なので、普段着られない。
- ・フードは物にひっかかりやすくあぶないけれども、雨がふったときにやくだつから(子ども)
- ・見た目はかわいいけど、何かにひっかかりそうな気がする。(12歳女)
- ・幼稚園では禁止になっている
- ・あんまりすきじゃない(6歳女)
- ・使う時もあるし使わない時もあるから
- ・服に興味がない
- ・あってもなくても気にしないから
- ・すきな服についているときと、ついてないときがあるから。(14歳女)・・・危険性を知らない

c. ヒモはすきですか？

| | すき | きれい | どちらでもない | 無回答 |
|----------|-----|-----|---------|-----|
| ヒモはすきですか | 17人 | 53人 | 53人 | 3人 |



<好き>・・・17人

理由

○ファッション性

- ・かわいいから (2名 12歳女他)・・・危険性を知っている
- ・ファッション的に
- ・かわいいヒモがいっぱいあるから。(7歳女)
- ・かっこいいから (7歳)

○機能性

- ・ズボンの腰ヒモは、子どもにあった調節ができるので、内側についていると重宝する
- ・ゆるい時にしめやすい (ボタンと比べ)
- ・ひっぱれる、動く
- ・ちょうせつできるから (2名 9歳女・11歳女)
- ・ほどいたりするのがかんたんだから (10歳男)

○その他の意見

- ・好き (12歳女)
- ・自分で結ぶのが楽しい

<きらい>・・・53名

理由

○危険性

- ・ひっかかるので、気になるから。
- ・からまる
- ・ひっかかるといやだから

- ・じこにあうといやなので
- ・危ないし、別に必要ないと思うから。
- ・じてんしゃでからまる
- ・あぶないから
- ・いろいろな物にひっかかるから
- ・ひっかかる (2名 11歳男他)
- ・てつぼうとかのぼうに、ひもがひっかかって首がしまっちゃうから。(9歳女)

○邪魔・めんどろ

- ・きれい、邪魔ズボンのウエストのヒモ
- ・ブラブラしていてめんどろ
- ・めんどろ
- ・動いてたり、ぶつかったりした時にひもを止める道具があたって痛い、じゃま
- ・じゃま (6名 8歳女・10歳女他)・・・危険性を知っているを含む
- ・結ぶのが面倒 (4名 10歳男・8歳女他)・・・危険性を知っているを含む
- ・せんとくするときからまるのでお母さんがきれい、自分でも邪魔くさいと思うので、ひもがある服も買うけれど、ヒモは全部取ってお母さんがゴムに変えてくれる (12歳女)
- ・ぶらぶらしているし、じゃまになるから。(8歳女)・・・危険性を知っている
- ・結ぶのがめんどろ (14歳女)
- ・じゃま (2名 6歳女・10歳男)
- ・むすぶのがめんどくさいから (10歳男)
- ・動くときにじゃまだから。(11歳女)

○その他の意見

- ・学校に着ていけない為
- ・シンプルな服が好き
- ・調節が難しいから
- ・フードについているヒモは、めったに使うことが無いから。
- ・ひもがほどけてしまう
- ・くすぐったいから
- ・だらだらしていてかっこわるいから。(9歳女)・・・危険性を知っている
- ・フードのひもはとる
- ・首がしまらないデザインで少しもっています

<どちらでもない>・・・53人

理由

- ・ヒモじたい昔から好まない
- ・めんどうなのでなるべく選ばない
- ・ヒモのズボン、服を着ないから
- ・ヒモつきでも使用せず、ぬいてしまうことがある
- ・シンプルに考えればない方がいい（10歳男）・・・危険性を知らない
- ・きれいではないけど、必要ではないと思う（10歳女）
- ・むすぶのがいやだ（6歳女）
- ・あまりあっても意味がないと思うから（12歳女）
- ・ひもはむすぶととってもかわいいけど むすばないととてもだらしがない。ひもはかわいい。でも、むすぶのは、めんどくさいしすぐほどける。いいこととわるいことがあるので どちらでもない。（9歳女）
- ・ついていてもいなくても いいと思うから（12歳女）
- ・ヒモを見て洋服をきめないから（12歳女）
- ・ふつう（11歳男）・・・危険性を知っている
- ・デザインによるのでどちらともいえない（13歳女）・・・危険性を知らない
- ・服に興味がない
- ・好きな服についているときと、ついてないときがあるから（14歳女）・・・危険性を知らない
- ・ヒモについて考えたことがなかったから（13歳男）・・・危険性を知らない
- ・デザインによる（11歳女）
- ・かんがえたことがない（10歳男）

IV アンケートに書かれたその他の意見

- ・安全でないものは、衣類に限らず販売を禁止すべきである
- ・保護者に常識が欠けている事をふまえて、使用度利用度が多いネット等で保護者を教育すべきだ
- ・子どもが小さい時ヒモはとってから着用させていた
- ・家の中の規格が子どもにできていない→①ドアノブ（長方形である。腕などにあたるとケガする。ウレタンのスポンジでカバーしている。）②ドアと床の隙間に足の指が挟まる（特にトイレのドア）
- ・出産祝いに高級ブランドのパーカー付き子ども服をもらった。高かっただろうが、1回も着せなかった
- ・フードやヒモを全くなくすのはむりがあると思う。ですが、安全にしてほしい。（12歳女）
- ・うちのドアはとてもあぶない。わけはドアのすきまや下のゆかのすきまで手のゆびや足のゆびのかわが はがれたりするから。 ドアのくふうもとても家ではひつよう。
- ・服でけがをするという はっそうは はじめてきいたので そんな事故があったことに驚いた。

服えらびに気をつける (12 歳女)

V 聞き取りをした意見・感想

- ・(東京都のリーフレットを渡すと)「このようなリーフレットがあると、保護者に啓発しやすい。」(保母)
- ・(啓発のタイミングはいつが良いと思いますか?と質問すると)「春先も良いが。冬物の出回る秋口が良いと思う。」(保母)
- ・大人の衣類も腰回りにいろいろついたものがあると、子どもにぶつかって危険。リュックのポケットが多すぎる
- ・学校支給の防犯ベルが気になる。いたずらで簡単に引き抜いて本当に必要な時使えない。JIS規格のポケベルもループのひもが長すぎて邪魔。なにかと引っかかっている。
電車定期のネックストラップを首に欠けるが長くてぶらぶらして危険だと思うが使用している (小1男 保護者)
- ・子ども服とは関係がないが、子どもの携帯やスマートフォンの利用について心配している。日々の生活の中で、長時間を電気通信機器の利用に費やすと、今しかできない貴重な体験ができないのでとても残念。子どもの夜間の利用時間を規制する条例や法律があったらいいと思う。また、保護者も情報通信機器(ラインやオンラインゲームその他いろいろ)の現代の様子が分からないのがとても不安。このような情報が得られるように説明会や講座を開いてほしい(高校1年・小学高学年の保護者)
- ・必要のないヒモはゴムにとり替えていた
- ・東京の小学校(文京区)は子ども服の危険を伝えて禁止だったが、大阪の小学校では特になし。
東京は財源があるし意識が高い(保護者の感想)
- ・保育園で指導を受けた
(当日、お子さんはフード・ヒモつきの洋服を着用していた。)自己管理できるようになったので着用させている(小学生高学年の保護者)

以上